

編集後記

丸山 哲

今回、野寄についての冊子を作ることになり、四〇代〜八〇代の方々にお話を伺いました。各年代によって少し違うところもあれば、どの年代でも共通しているところもあり、とても貴重なお話を聞くことができました。この冊子を少しでも多くの方が読み、地域にさらに興味・関心を持っていただけたらと思っています。

野上 黎吏

今回、ゼミ活動の一環として野寄についての冊子を制作することになり、これは久保ゼミでも初の試みなので、最初は上手くできるか不安でした。四〇代から各年代の方々にお話を伺うところから始まり、そのお話を一度まとめて、何度も添削等を繰り返し、話していただいた内容はそのままに、読みやすくしてみました。是非、ご一読ください。

福留 一毅

この度、野寄地区についての冊子を作成することになり、幅広い年代の住民の方の協力を得て、貴重なお話を沢山伺うことができました。この冊子は野寄の良いところを知ってもらおう目

佃 悠生

今日、既に名の消えてしまった「野寄」という地域があります。かつての住民の方々は、転勤や婚姻などのそれぞれ事情により「野寄」を離れ、その地域を知る人は減少傾向にありました。忘れられてはならない歴史や記憶が失われてしまう前に冊子に纏めようという久保先生のお誘いで、私たちがそれに賛同したことが今回の経緯です。

取材を通して、住民個人が抱えている「野寄」への思い入れが私たちが想像している以上に大きいものだったことが感じられました。何とかそのお気持ちに伝えようという想いで作成しましたが、いかがでしたでしょうか？（笑）この冊子が、甲南生や周辺地域の方々に少しでも「野寄」について興味を持って、もっと知られる契機になれば幸いです。



久保はるか教授
本山第二小学校区防災福祉コミュニティ
主催の地域防災訓練にてご挨拶

この冊子が野寄地域を知る一助となれば嬉しいです。野寄のだんじりは壮観ですよ。学生の皆さんも是非、見に行ってみてください。

（久保教授コメント）



久保ゼミ冊子編集者集合写真

上段左から野上拓、福留、野上黎 下段左から丸山、佃、村上

的で作成しましたが、野寄に限らず、これを読んで頂いたことをきっかけに、自分の住む地域がどんな所なのか関心を持って頂くことができれば幸いです。

村上 雄一

地域住民の方や本校学生に、もっと野寄のことを知ってほしい、愛着を感じてほしいという思いから本冊子の編集会議は始まりました。この私たちの知らない「野寄」を通じて、読者の皆様に野寄地域の魅力が少しでも伝われば幸いです。

最後になりますが、本稿編集にご協力下さった地域の皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。

野上 拓希

今回作成にあたり、野寄地域の魅力や歴史、想いや記憶について触れることができました。地名が野寄から西岡本に変わった時の心境や、ボランティアの話など野寄の温かさを感じました。野寄地域全体の、延いては地域住民の温かさについて触れることができる、そういったものを作ることができたと思います。関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。